

公表

事業所における自己評価総括表 児童発達支援

○事業所名	児童デイケアが		
○保護者評価実施期間	2024年10月15日		2024年11月5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2024年12月10日		2024年12月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月22日		公表日 2025年3月1日

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団の中で、異年齢の子ども同士が指導員やプログラムを通してコミュニケーションを図り、自分の居場所作りができること。	SNSを活用して日々の生活の様子や活動の様子を随時保護者様にお写真で提供出来ていること。	子ども達の更なる興味が引き出せる様にプログラムや日々の活動内容を検討していく。
2	昨今の情勢や社会風潮を鑑みて各ご家庭の事情に寄り添いながら送迎時間の調整を行っていること。	子どものペースで集団活動に参加し、その場面を大切にしながら子どもが主体的に活動できていること。	保護者様が安心して日々の生活が行えるように子どもの生活の様子を含む情報提供やお写真、動画等を発信していく。
3	個の特性を鑑みて個の特性に対する最大限の配慮を行い、それら特性を指導員間で共有して統一した支援を提供できていること。	保護者様が安心して子どもを預けられるように、疑問点などには誠意をもって対応させていただいていること。	個の特性を指導員間で共有し、指導員間で対応の差が生まれないよう情報共有や社内研修を充実させていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	トイレ前に段差があり、バリアフリー化が難しいところ。	建物の構造上これ以上のバリアフリー化が難しいこと。	マットを増設して少しでも段差を埋めるなどを検討していきたい。
2	バスレクやお出掛けのご要望が保護者様アンケートの回答を見ると多数あったが、ご希望に沿えるほど実施できなかった。	昨今の情勢を鑑みて実施を見送ってしまったり、規模感の検討で見送ってしまったこと。	昨年より一回でも多くお出掛けイベントが立案できるように小規模な物から確実に実施していきたい。
3	室内に歩行練習などの手すりがないこと。	設置スペースの問題で難しい側面があることや、手すりを取り付けたことで怪我に繋がらないか、など検討すると日々踏み出せないこと。	手すりがあるとより良い生活やより良い支援が送れる利用者様の増加等加味して検討していきたい。